

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【公開番号】特開 2020-149869 (P2020-149869A)

【公開日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-038

【出願番号】特願 2019-46706 (P2019-46706)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/64 (2006.01)

H 0 1 R 13/631 (2006.01)

H 0 1 R 31/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/64

H 0 1 R 13/631

H 0 1 R 31/08 Q

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 10 日 (2021.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

上記の構成によれば、可動部材とムービングプレートとを 1 つの部材で兼ねることができるので、解除部材をムービングプレートと別に配設する場合に比べて部品点数を減少させられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

図 8 には、レバー 3 5 が更に回転されて、雌コネクタ 1 2 およびムービングプレート 3 8 がフード部 2 3 の後方に更に移動した状態が示される。雌コネクタ 1 2 の雌側凹部 1 9 の内壁に、解除部材 4 7 の前端部が接触している。これにより、雌コネクタ 1 2 およびムービングプレート 3 8 が後方に移動することに伴って、解除部材 4 7 が雌コネクタ 1 2 に押されて後方に移動する。解除部材 4 7 のうち雄コネクタ 1 1 側の端部は、雄ストッパ 2 7 を貫通して、短絡端子 2 8 の接触片 3 3 に前方から接触する。雄タブ 1 5 は接続筒部 2 5 の内部に挿入されている。これにより、雄端子 1 6 と雌端子 1 4 とが電氣的に接続される。短絡端子 2 8 の接触片 3 3 は雄端子 1 6 の上壁に接触しており、隣り合う雄端子 1 6 同士は、まだ電氣的に短絡されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

本実施形態によれば、フード部 2 3 内に配された雄端子 1 6 の位置決めをするムービン

グプレート 38 に解除部材 47 が配設されている。これにより、解除部材 47 をムービングプレート 38 と別に配設する場合に比べて、部品点数を減少させられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

＜実施形態 2＞

次に、本開示の実施形態 2 が図 10 から図 14 を参照しつつ説明される。図 10 に示されるように、本実施形態にかかる雄コネクタ 11 に設けられた雄側凹部 29 の内部には、短絡端子 28 は収容されていない。本実施形態にかかる雌コネクタ 12 に設けられた雌側凹部 19 の内部には、短絡端子 28 が収容されている。本実施形態にかかる短絡端子 28 は、接触片 33 が後方を向く姿勢で、雌側凹部 19 内に収容されている。短絡端子 28 が、左右方向に隣り合う雌端子 14 同士に接触することで、隣り合う雌端子 14 同士が電氣的に短絡されるようになっていく。このように短絡端子 28 は左右方向に隣り合う雌端子 14 に接触するように設けられている。短絡端子 28 は、雌ストッパ 18 に後方から突き当たることにより、前止まり状態で雌側凹部 19 内に保持されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

図 11 には、雌コネクタ 12 がやや後方に移動した状態が示される。雌コネクタ 12 とムービングプレート 38 の本体部 39とは離間している。解除部材 47 の前端部は、雌ストッパ 18 の内部に進入している。解除部材 47 の前端部は短絡端子 28 の接触片 33 と離間している。雄タブ 15 の先端は雌コネクタ 12 と離間している。短絡端子 28 の接触片 33 は雌端子 14 の上壁と接触している。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

図 12 には、雌コネクタ 12 が後方に移動して、雌コネクタ 12 と本体部 39とが接触している状態が示される。図には詳細に示さないが、雌コネクタ 12 の被係合部 22 はムービングプレート 38 の係合部 42 の内側に嵌り込んでいる。解除部材 47 の前端部は、雌ストッパ 18 を貫通して、短絡端子 28 の接触片 33 に接触している。これにより、雌コネクタ 12およびムービングプレート 38 が後方に移動することに伴って、解除部材 47 が接触片 33 に押されて後方に移動するようになっていく。解除部材 47 の後端部は、雄ストッパ 27 の内部に入り込んでいる。解除部材 47 の後端部は、雄側凹部 29 の内壁と離間している。短絡端子 28 の接触片 33 は雄端子 16 の上壁に接触している。雄端子 16 に設けられた雄タブ 15 は、雌端子 14 の接続筒部 25 と離間している。

【手続補正 7】

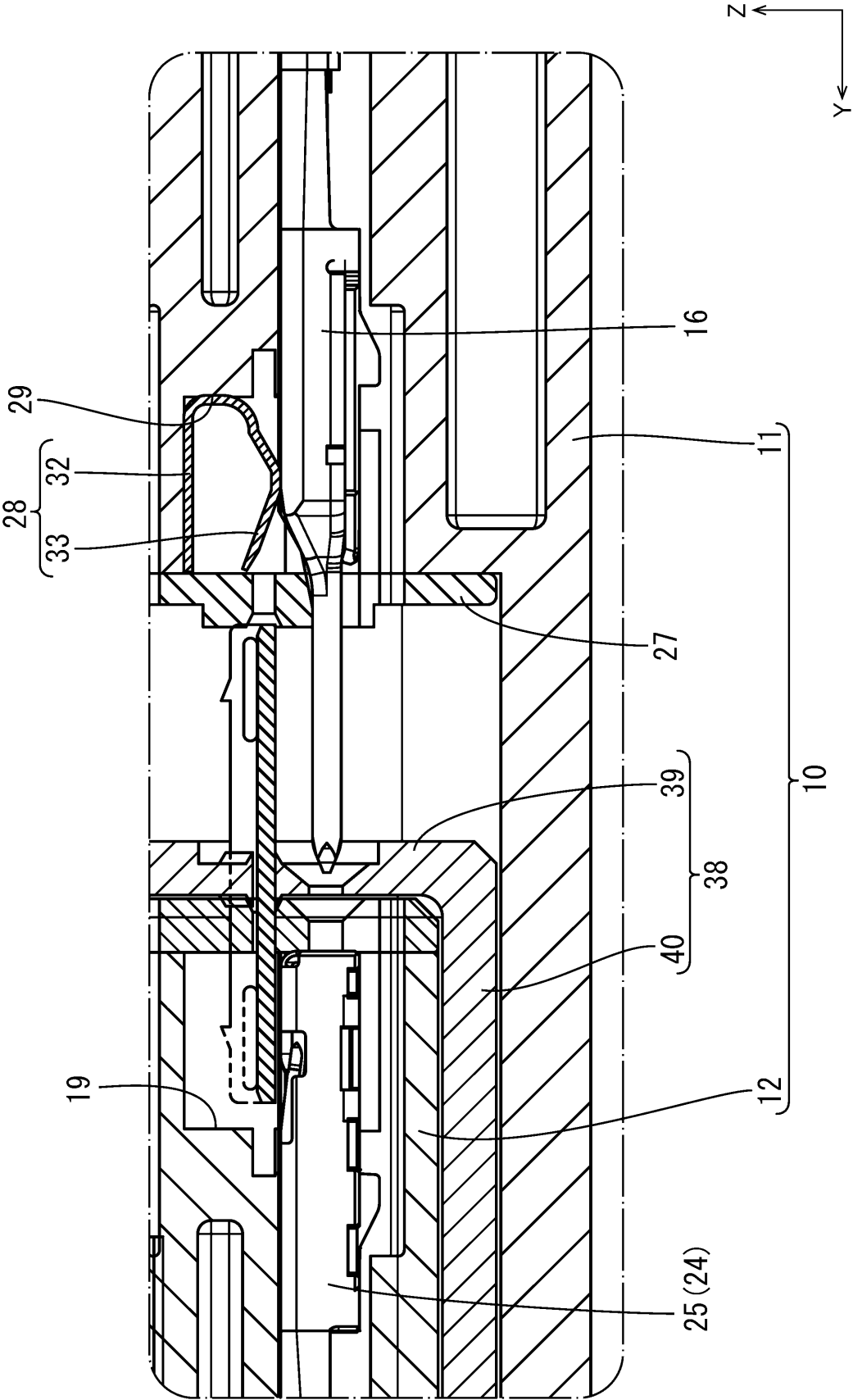
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

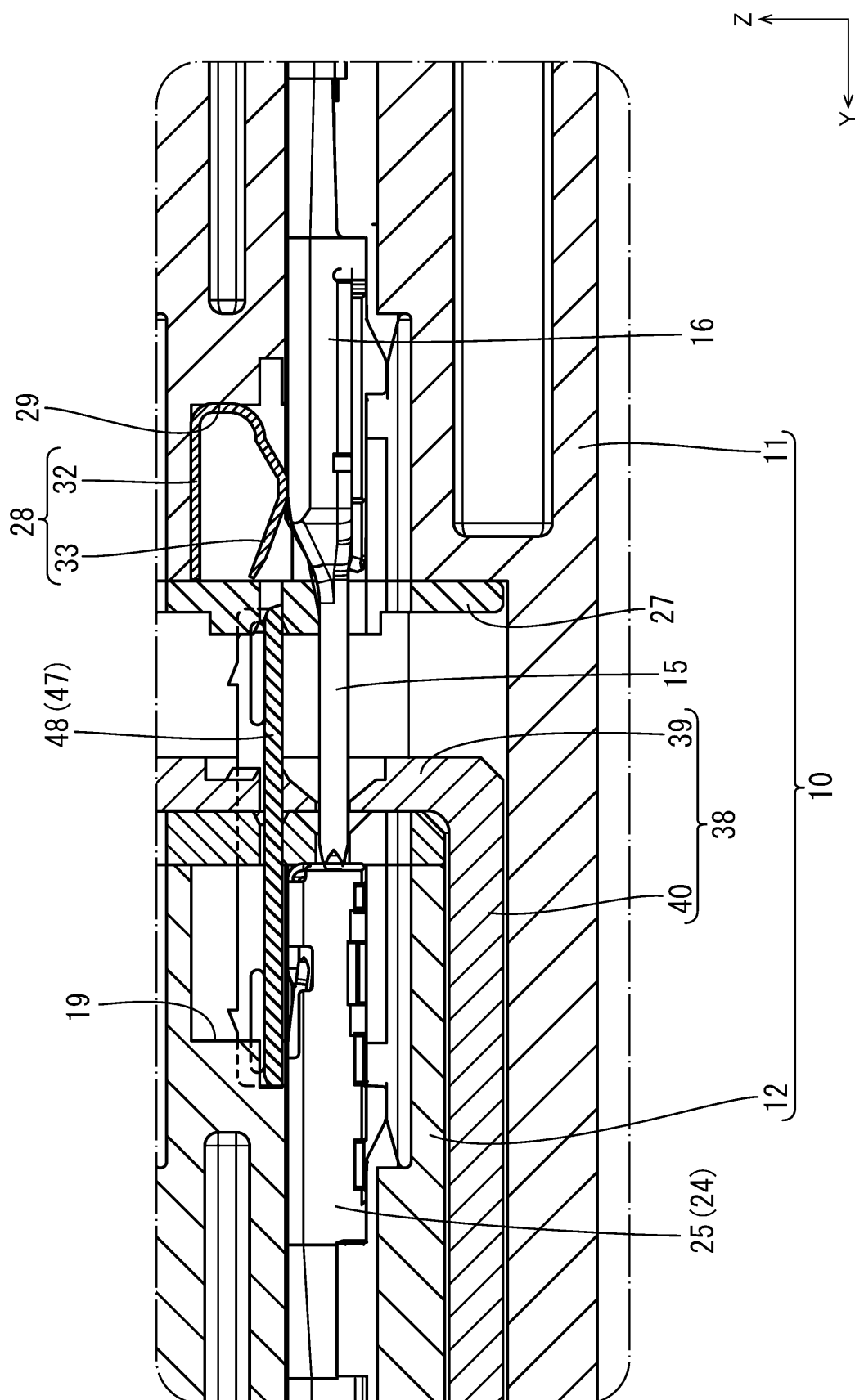


【手続補正 8】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 7
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【図 7】

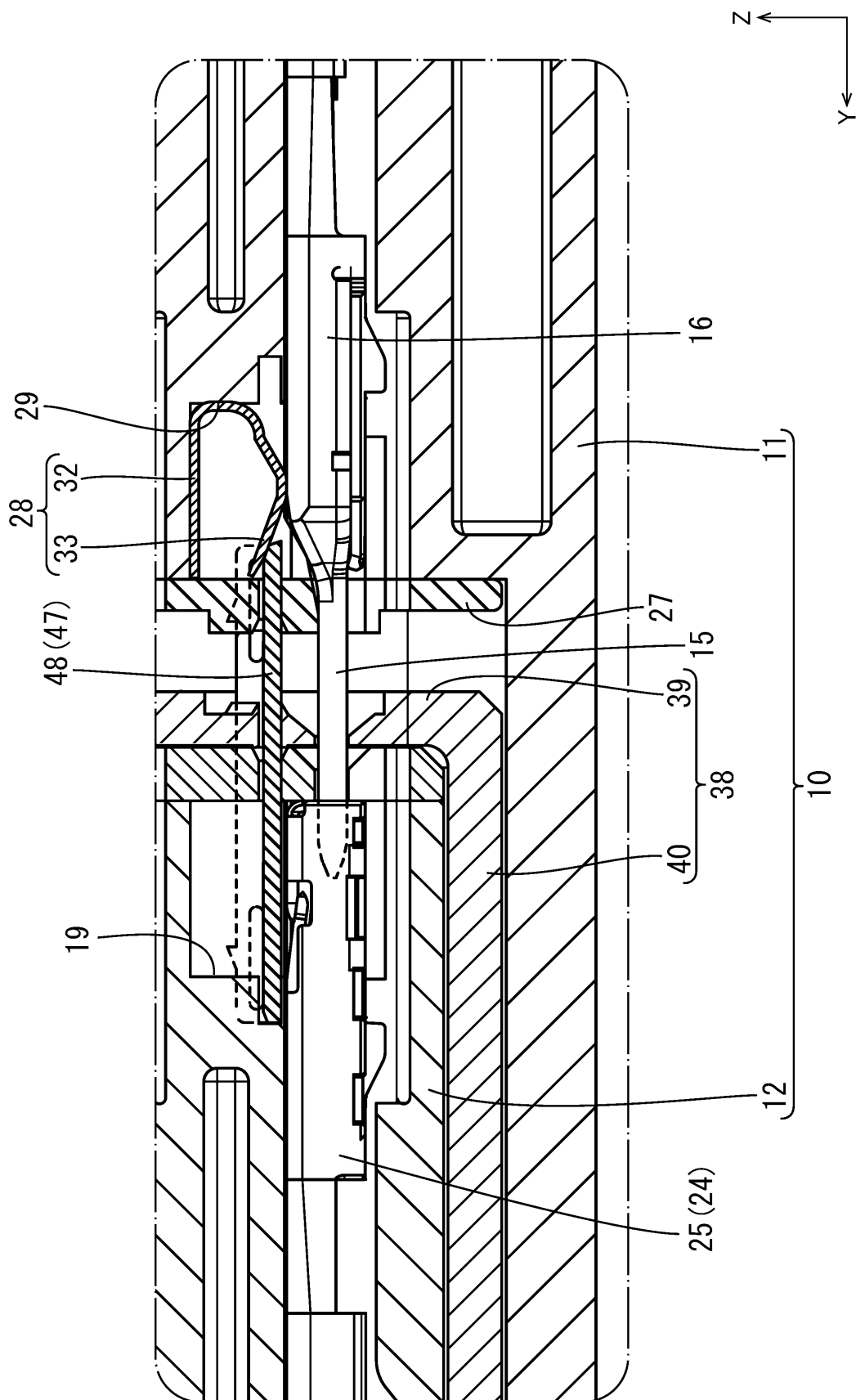


【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】 図 8
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【図 8】

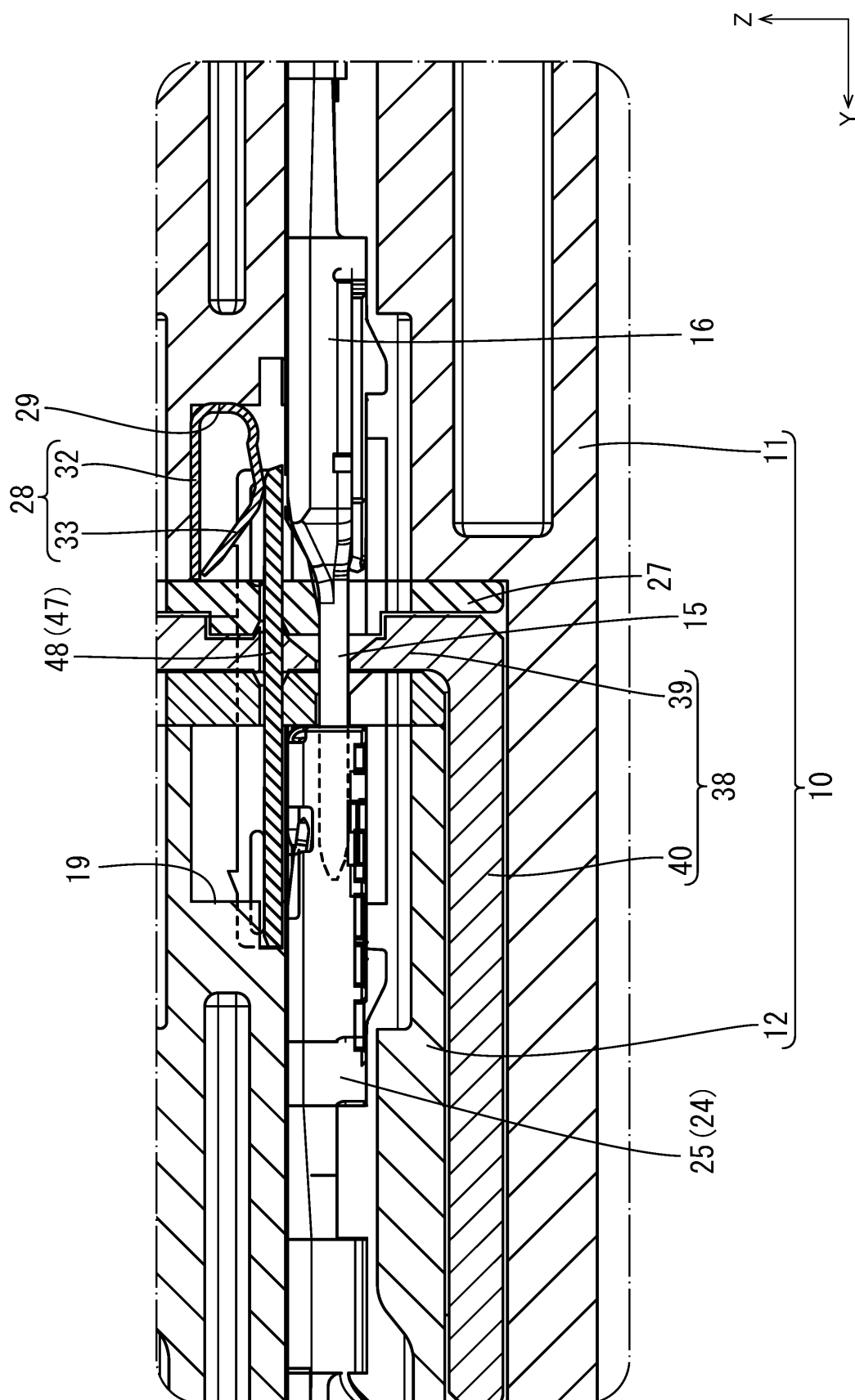


【手続補正 10】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】 図 9
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【補正対象書類名】図面

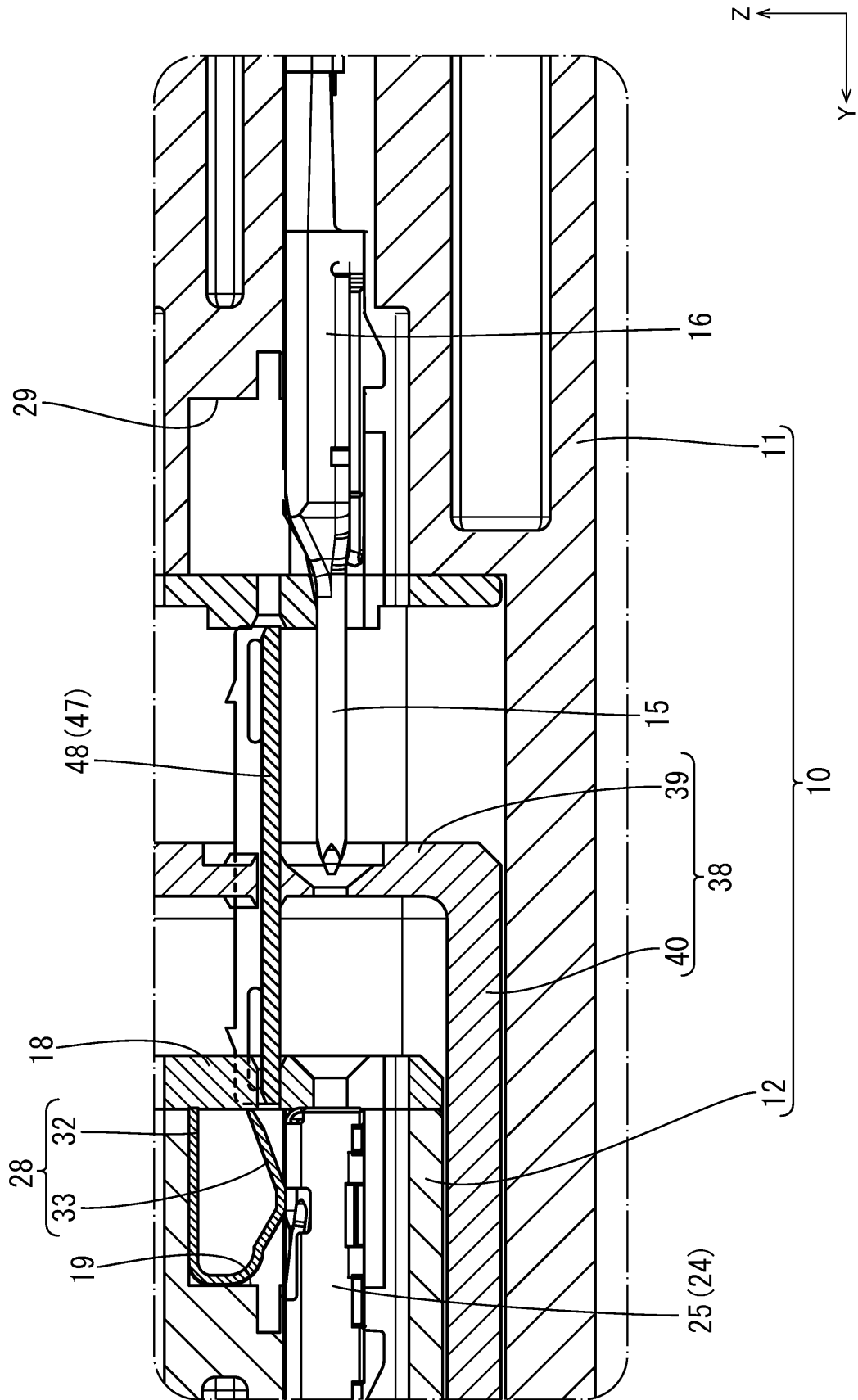


【補正対象項目名】 図 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図 1 1】

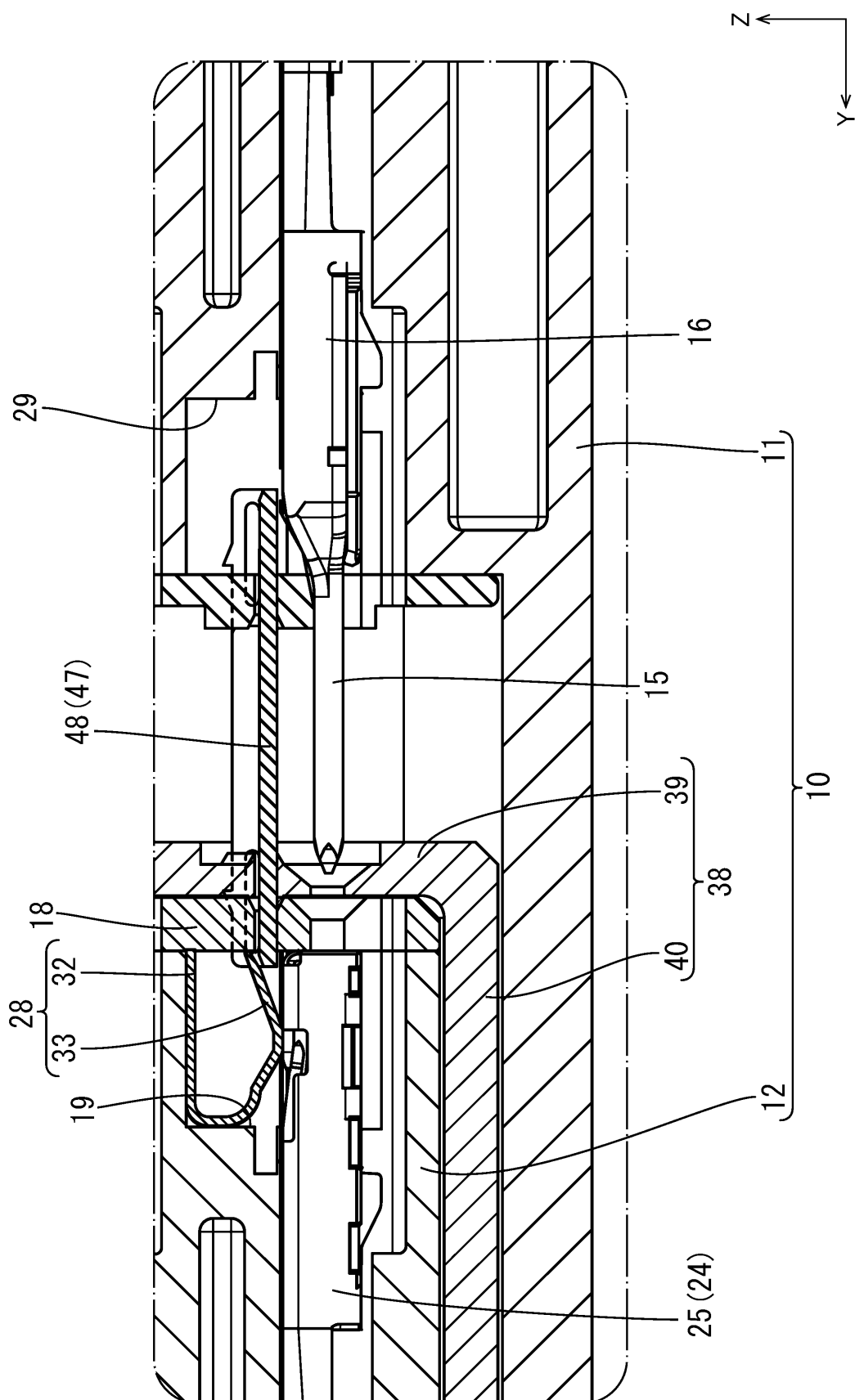


【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】 図 1 2
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【補正対象書類名】図面

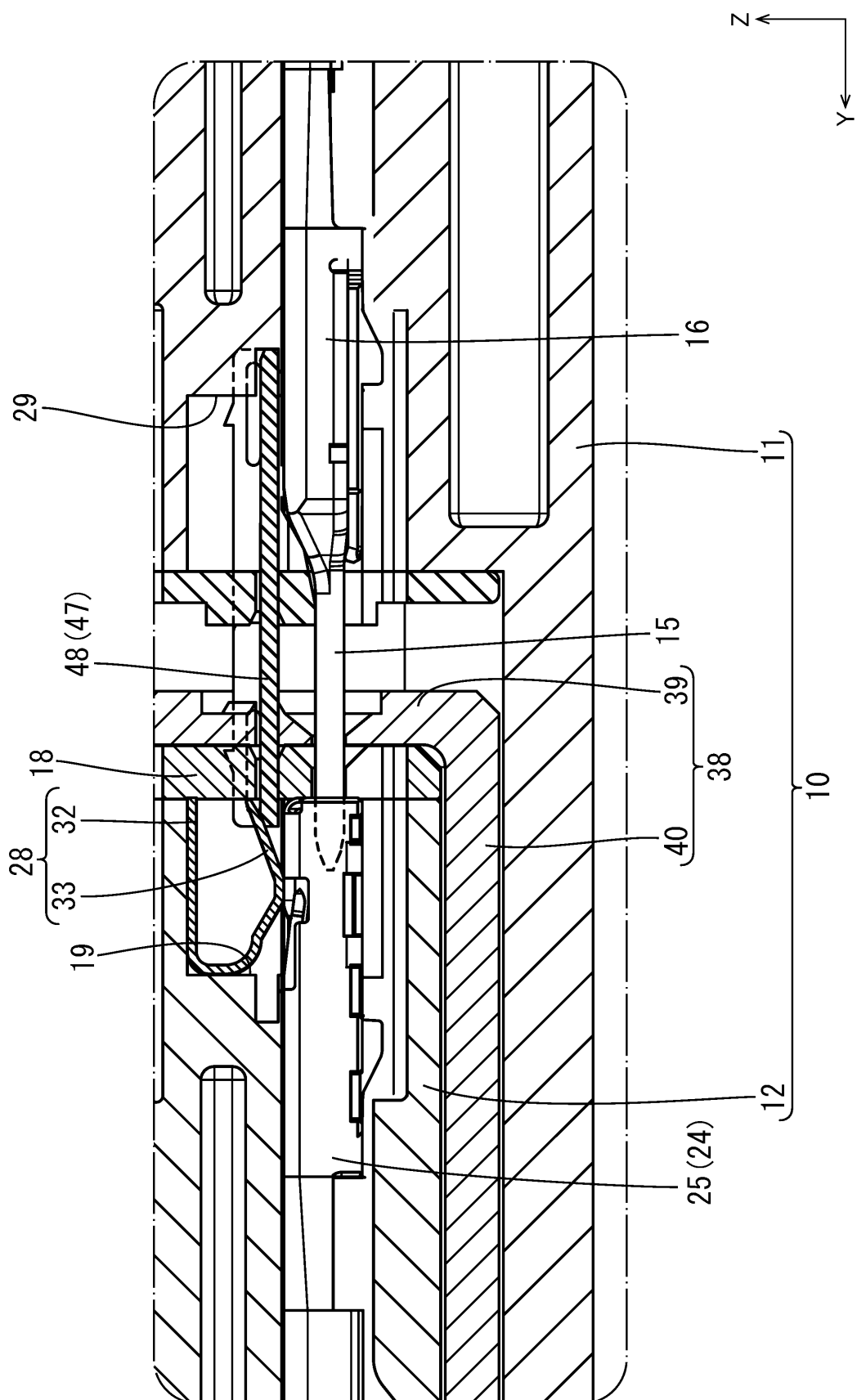


【補正対象項目名】 図 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【補正対象書類名】 図面



【補正対象項目名】図 1 4
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 図 1 4 】

